

【オプトアウトについて】

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入がなく診療情報等の情報のみを用いる研究、余った検体のみを用いる研究は、国が定めた指針「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づき、対象となる患者さま全員の方から個別に、直接同意を得る必要はありませんが、研究に関する情報を公開し、さらに拒否の機会を保証することが必要とされております。これを「オプトアウト」と言います。

オプトアウトを行っている臨床研究は以下の通りです。研究への協力を希望されない場合は、下記文書内に記載されている各研究の担当者までお知らせください。

「後期～超高齢（75 歳以上）CKD の進行危険因子に関する研究

---中年～前期高齢（75 歳未満）CKD との比較---」 へのご協力をお願い

当院では医療法人緑栄会 倫理委員会で承認された下記の研究を実施しますので、ご協力をお願いいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、2026 年 12 月 31 日までに下記のお問い合わせ先までお申し出下さい。なお、ご協力いただけない場合でも、診療など病院のサービスにおいて患者の皆様が不利益が生じることはありません。

対象者

1992 年 4 月～2022 年 12 月の期間に、当院で慢性腎臓病の治療を受けられた方

研究実施責任者

山本駿一 三愛記念病院 腎臓内科／三愛記念そがクリニック 腎臓内科／
山之内病院 内科 / 千葉健生病院 内科

研究の意義と目的

近年、新規透析導入患者数をみると、75 歳未満は横ばいしないし減少傾向にあるが、75 歳以上では依然として増加傾向を示している。今回、75 歳以上慢性腎臓病の進行危険因子を 75 歳未満の方と比較することによって明らかにし、75 歳以上の慢性腎臓病の進行抑制に資することを目的とする。

研究方法

1992 年 4 月～2022 年 12 月の期間に、当院で慢性腎臓病の治療を受けられた患者様で、研究者が診療情報から下記項目を抽出し、分析を行います。ご自身やご家族の情報が研究に使用されることについて了承いただけない場合には対象から除外します。

（抽出する情報の項目）

年齢、性別、腎機能検査値、尿定性（尿蛋白）、
疾患（高血圧、貧血、高尿酸血症、糖尿病、心血管疾患、肥満、脂質異常症）の有無

情報の保護（他の機関への情報の提供を含む）

調査情報は個人情報 that 特定できない形に加工し取り扱います。得られた情報はファイルにパスワードをかけ、USB に保存し、医療法人緑栄会 三愛記念病院の施錠可能な保管庫に保管します。調査情報は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する可能性があります。

研究期間

倫理委員会承認後から 2027 年 3 月 31 日

お問い合わせ先

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。

ご自身やご家族の情報が研究に使用されることについて了承いただけない場合には
研究対象としませんので、2026 年 12 月 31 日までの間に下記連絡先までお申し出下さい。
この場合も診療など病院のサービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

<お問い合わせ先>

三愛記念病院 腎臓内科

氏名：山本駿一

電話：043-246-2271